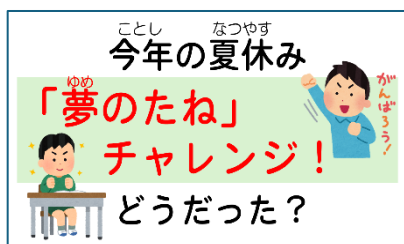


夢の「たね」

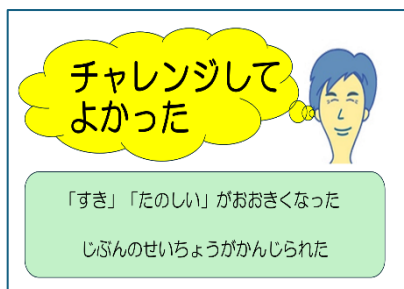
夏休み夢のたねチャレンジどうだった？ 2学期始業式での校長先生の話より



夏休みの宿題としてお願いした「夢のたねチャレンジ」。どんなことにチャレンジしたかを、隣の人に伝えてもらい、数人にみんなの前で伝えてもらいました。「〇〇にチャレンジしたよ」「毎日続けたよ」「もうちょっとで目標を達成できるところまでできたよ」「あまり続けられなかったな」「チャレンジとっても楽しかったよ」など、それぞれいろいろなチャレンジができたことでしょう。



次に校長先生の「夢のたねチャレンジ」は。「ギターを毎日練習して、ライラックをみんなの前で弾けるようになる」でした。夏休み中は、頑張って練習を42日練習できました。すると、不思議なことに、「練習したら夏休み前よりも上手になった。」「これからも続けたら、もっと上手になれるかも。」という感想が自然と出てきました。（どれくらい上手になったかみんなの前でギターを弾いてみたけど、夏休み前と比べてどうだったかな？）



「夢のたねチャレンジ」を振り返ってみると、何よりも「チャレンジしてよかった!」と思っています。その理由は「自分自身の成長を感じられたから」「毎日コツコツと努力をしたことで自信が持てるようになったから」「やっているときに楽しい気持ちを感じられたから」です。しかも、このチャレンジを通して、自分の「好き」や「楽しい」「もっと上手になりたい」「もっと知りたい」がどんどん大きくなるのを感じられて、幸せな気分になりました。



今日から2学期が始まりました。どんな2学期になるか楽しみです。いつもの学校生活を全力で過ごすことで「好き」「やってみたい」「できた」「楽しい」がたくさん見付き、「夢のたね」がどんどん増えていくことでしょう。

見つけた「夢のたね」は、みんなの成長の証であるし、身についた力でもあります。最後には、そのたねが成長して花が咲き、実を結びます。何でもチャレンジして、楽しい2学期にしましょう。

みんなの「夢のたねチャレンジ」を提出してもらいました。提出してくれた児童全員のチャレンジを「どんなことが好きになったのか」「頑張ったことは何か」「どれくらいできるようになったのかな」と楽しみながら見せてもらいます。

校長先生が見た後は、担任の先生に渡すので、どんなチャレンジができたのかを担任の先生に自慢しちゃってください。